

7. 建設業

受注高・工事施工高の状況

－業況DI、プラス台が続く－

業況DIは+10.4と前期に比べ4.0ポイントの好転となっている。なお業況判断DIは5期連続でプラス台を維持している。

受注高DIは+7.3と前期と比べ1.5ポイント後退している。

工事施工高DIは+9.7と前期と比べ3.3ポイント好転している。

施工高を受注先別でみると、大企業型においては好転、中小企業型においては改善、官公庁型、個人型においては後退している。

また職種別でみると、総合工事においては後退、設備工事、職別工事においては好転となっている。

資金繰りDIは+0.8と前期と比べ4.1ポイント後退している。

経営上の問題点は、「競争の激化」43.5%、「人手不足」42.7%、「受注・施工高の停滞・減少」が40.3%の順になっている。

来期の業況DIは+2.4と今期と比べ8.0ポイントの後退、受注高DIは+3.3と今期と比べ4.0ポイントの後退を予測している。

〈参考〉職種別業種明細

- ・ 総合工事業…一般土木建築・土木・舗装・しゅんせつ工事業
・ 木造建築工事業
- ・ 職別工事業…大工・とび・コンクリート・鉄骨鉄筋・塗装工事業
石工・レンガ・タイル・ブロック・屋根・板金・金物工事業
- ・ 設備工事業…電気工事・電気通信・信号装置・管工事業・さく井工事業
その他の設備工事業

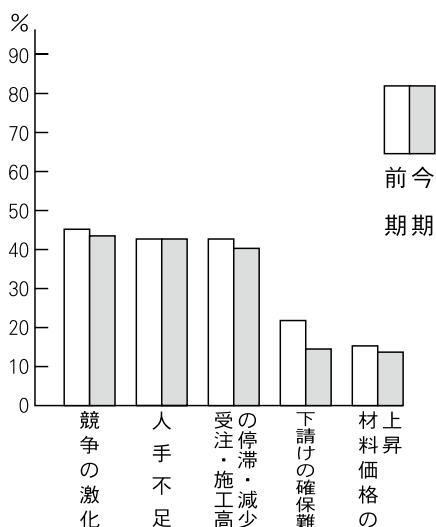
業況	(単位：%)			DI
	好転	変わらず	悪化	
29/10～12	16.1	74.2	9.7	6.4
30/1～3	18.5	73.4	8.1	10.4
30/4～6 (見通し)	16.1	70.2	13.7	2.4

受注高	DI			
	増加	変わらず	減少	
29/10～12	19.3	70.2	10.5	8.8
30/1～3	21.8	63.7	14.5	7.3
30/4～6 (見通し)	20.2	62.9	16.9	3.3

工事施工高	DI			
	増加	変わらず	減少	
29/10～12	17.7	71.0	11.3	6.4
30/1～3	19.4	70.9	9.7	9.7
30/4～6 (見通し)	15.3	68.6	16.9	△ 0.8

資金繰り	DI			
	楽	変わらず	苦しい	
29/10～12	8.9	87.1	4.0	4.9
30/1～3	8.9	83.0	8.1	0.8
30/4～6 (見通し)	7.2	86.4	6.4	0.8

経営上の問題点



収益の状況

— 来期も悪化を予測 —

今期の収益D Iは△0.8と前期と比べ1.6ポイント悪化しマイナス台となった。

来期の収益D Iは△4.8と、今期と比べ4.0ポイントの悪化を予測している。

設備投資の動向

今期の実施率は4.0%と、前期の3.2%と比べ0.8ポイントの増加となった。

来期の実施予定は3.2%と、今期と比べ0.8ポイントの減少を予測している。

業界の新しい動き・課題・見通し等… ご意見

- ・ 総じて人手不足。 (土木工事業)
- ・ 競争が激化している。
- ・ 今後施工力や技術力の向上が必要。 (設備工事業)

収益 (単位: %)

	増加	変わらず	減少	DI
29/10~12	13.7	73.4	12.9	0.8
30/1~3	13.7	71.8	14.5	△ 0.8
30/4~6 (見通し)	10.5	74.2	15.3	△ 4.8

請負単価

	上昇	変わらず	下降	DI
29/10~12	6.5	87.0	6.5	0.0
30/1~3	3.2	85.5	11.3	△ 8.1
30/4~6 (見通し)	7.3	83.8	8.9	△ 1.6

材料単価

	上昇	変わらず	下降	DI
29/10~12	16.9	83.1	0.0	16.9
30/1~3	12.9	86.3	0.8	12.1
30/4~6 (見通し)	12.9	86.3	0.8	12.1

設備投資動向

〔今期の実績〕

30/1~3月実績

実施の有・無	内 訳	比率(%)
○実施した 4.0%	事業用土地	20.0
	事業用建物	20.0
	機械の新・増設	80.0
	更 改	0.0
○実施しない 96.0%		

(注) 比率は複数回答です。

〔来期の見通し〕

30/4~6月期予想

実施の有・無	内 訳	比率(%)
○計画あり 3.2%	事業用土地	0.0
	事業用建物	75.0
	機械の新・増設	25.0
	更 改	0.0
○計画なし 96.8%		

(注) 比率は複数回答です。